

# STEP BY STEP



皆さん、お元気ですか？ 緊急事態宣言が解除されてもまだ安心はできません。「世界に類を見ない手厚い補償」と安倍首相は豪語したが、この会報の準備を始めた6月中旬の時点では、私のもとに届いているのはマスク2枚だけ。10万円が届くのは一体いつでしょう。思いつきの一斉休校、思いつきの自粛要請、医学的・科学的根拠ゼロの緊急事態宣言とその解除。「1か月半でコロナをほぼ収束させることができました」と得意げに語る自称森羅万象大臣。いやいや、あんた、何もしなかったでしょう！ なんだか詐欺師と向き合っている気分です。

ところで、河井前法務大臣と妻の案里議員が逮捕されました。法務大臣に就任する人は皆が「法と秩序」という言葉を口にします。法務・検察を司る要職に就く人物が、約百の人に大金をばらまく買収行為を行い、50日足らずで辞任。その後、法務大臣になったのがしどろもどろ答弁の森法務大臣。法務大臣と言えば、死刑執行命令も出せる権限も持っています。実は安倍政権下では（第1次・2次政権合わせて）既に49人の死刑執行が行われています。49人目は中国人の死刑確定囚、ウェイ・ウェイさん。昨年末、福岡拘置所で執行されました。執行命令を出したのは（河井前法務大臣の辞任を受けて）就任したばかりだった森法務大臣。あんなに急いで死刑執行する必要があったのかな。その前に書類や記録にしっかり目を通したのかな。甚だ疑問です。

賭けマージャンで黒川某が辞職に追い込まれ、河井夫妻を逮捕した検察を無批判に賞賛する人たちもいるが、有権者にカニやメロンを配った菅原一秀元経産相は不起訴。法の下での平等は何処に行ったのでしょうか。

という原稿を書いていたら、今度はその菅原元経産相が800人を招いてバスツアーをやっていたというニュースが飛び込んできました。今度は起訴するんですよね？ 一体、検察は何をやっているんでしょう。「法と秩序」はどこに行ったのでしょうか。

多くのメディアが検察のドタバタについて報道をしています。これまでどれだけの再審開始決定を検察が踏みつぶしてきたか、そこまで踏み込むメディアは皆無でした。無力感に襲われる毎日ですが、こんな無茶苦茶な横暴は早く終わらさなくてはいけない、と決意を新たにしています。この国の主権者、主は我々市民です。我々が雇い主です。彼らがしっかり仕事をしているのかどうか、監視の目を休めてはいけません。（なつし聡）

## ■日野町第2次即時抗告審の裁判長交代

日野町事件と呼ばれる冤罪事件は大阪高裁第2刑事部に係属していました。そして担当裁判官として長井秀典氏が着任するという情報が流れました。長井氏は日野町事件の第1次再審に関わり、「自白は信用できる」として再審請求を棄却しました。その棄却判断は、その後の再審請求で隠されていた証拠捏造の判るネガフィルムなどによって間違っていたことが判り、大津地方裁判所が再審開始決定を出しました。

私たちを含むいくつかの団体が、長井裁判官にはこの事件に関わる資格がなく、日野町事件に関わるべきではないと、要望書を提出しました。その結果、長井裁判長のいる第2刑事部から第3刑事部に配置替えになりました。これ自体は喜ばしいことですが、大崎事件の弁護団長、鴨志田祐美弁護士は次のように指摘しています。

今回、裁判所が配置替えを決めたということは、裁判所が自ら「以前同じ再審事件に関与した裁判官を関与させることは裁判の公正に疑いを生じさせる」ことを事実上認めたということであり、日野町事件固有の問題として終わらせてはならない。

しっかりと監視をして、おかしいものはおかしいと声を上げていかないといけませんね。

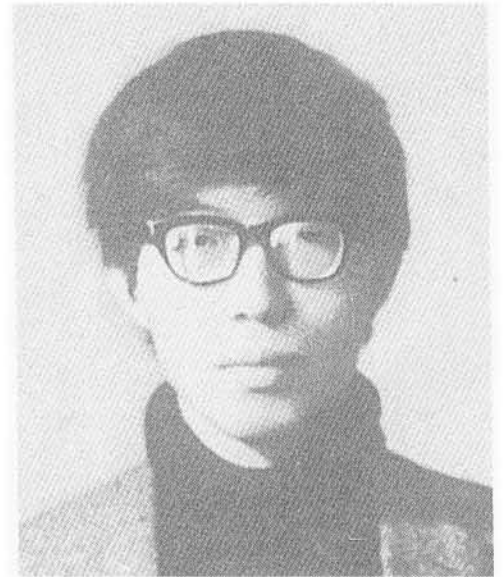
## 獄中44年の星野文昭とともに生きて

沖縄闘争を闘い、でっち上げ無期と闘ってきた獄中44年の星野文昭が亡くなったのは、昨年5月30日だった。一周忌を迎え、集いを開催した。この一年、どう闘うことが文昭の遺志を継ぐことになるのか考えてきたが、いよいよ具体的な形となり踏み出せる状況になった。文昭を死に至らしめた責任を明らかにする国家賠償請求訴訟は、新たな運動として呼びかけ人を組織することが提案された。また沖縄との連帯行動を進めることも呼びかけられた。

文昭は肝臓がんの手術の2日後に亡くなった。病室での面会で、はじめて手を握りあい文昭の胸に顔を埋めたことも、忘れられない。昨年の4月18日、文昭が徳島刑務所から東京昭島市にある東日本成人矯正医療センターに移監になった頃には、14cm×11cmの巨大な肝臓がんになっていた。徳島刑務所は家族の要望を受け入れず、一昨年の8月に倒れてから3月になるまでエコーなどの必要な精密検査をやらなかった。医療センターは、手術の直前肝臓が最悪な状態になっているにもかかわらず手術を強行した。そして術後ICUに入れず、午前1時30分から午前5時5分まで、医師も看護師も文昭を看なかった。巡回も行わなかった。医師は、当直医以外は全員帰宅していた。これらの責任を明らかにしたい。そのことで、獄中医療を変革し、安倍政権を倒したい。

私が文昭に出会ったには、1984年の冬だった。拘禁性ノイローゼが治りかけている中で、自分といっしょに生きてくれる女性を求めた前向きさに惹かれ、裁判の傍聴に行ったのだ。忘れもしない本人質問の中で、文昭は「すべての人間が人間らしく生きられなければ、自分も人間らしく生きることはできない。すべての人間が人間らしく生きられるように自分の生を尽くしたい」。そう話したのだ。感銘を受け、この人といっしょに生きたいと思った。以来35年間、文昭が「自分の人生に悔いはない。もう一度生まれてきても、自分は暁子とみんなとの団結を生きる」と言っていたように、私も悔いは何ひとつない。

文昭が死亡したことで、第2次再審は終了した。私と兄弟が請求人になって、第3次再審を開始する予定だ。  
(星野暁子)



若き日の星野文昭さん

## 冤罪被害アンケートにご協力を！

昨年6月28日、熊本地裁でハンセン病家族裁判の勝訴が伝えられました。原告らは座る間もなく上京し、国会で、官邸前で、控訴阻止の闘いを繰り広げてきました。控訴断念が伝えられた時は安堵とうれしさがこみあげてきました。のっけから冤罪と関係ない話？ いえいえ、実は関係なくはないんです。それは国によって犠牲を強いられているという点で同じだからです。

ハンセン病家族裁判は「思いよ届け！」を合言葉に闘ってきました。その中でも、顔も名前も出せない原告たちの壮絶な被害の実態をまとめた冊子『思いよ届け！』が大きな力を発揮しました。この冊子をもとに法廷外で、国会議員、マスコミに訴え、

支援を大きく広げ、勝利への土台を作ってきたのです。私は家族裁判を最初からずっと見てきましたが、やはり人の心を動かすのは犠牲者の小さな、しかし切実な生の声しかない！ という思いを強くしました。

ここからが本題です。この『思いよ届け！』の冤罪版をどうしても作りたい！そのために冤罪被害アンケートを始めました。被害の具体的な統計も取ります。これによって冤罪多発地帯や自白の強要、違法な取り調べ、家族への被害なども明らかにしていきます。

冤罪犠牲者もハンセン病元患者と同じ、国によって犠牲を強いられ、人生まるごと被害を受けています。なのにその声が社会に十分届いていません。だから再審への壁は高いまま、冤罪を作り出すシステムも変えられずに今日まで来てしまいました。

冤罪犠牲者のご家族の怒り、悔しさ、嘆き、悲しみ、絶望の淵にある（あった）あなたの声を届けてください。その声が人の心を動かします。「冤罪犠牲者」という記号ではなく、自分と同じ人間として認識されて、初めて見えてくるものがあります。そして支援している皆さん、ぜひ冤罪犠牲者にアンケートを届けてください。いずれ事務局から届くと思いますが、HPからもダウンロードできます。被害回復の大きなうねりを作りましょう！（事務局 ノジマ ミカ）

#### ■冤罪被害アンケートについて

当会会員の皆様には郵送またはメールで会報をお届けしています。前号の会報と一緒にアンケートはお届けしていますが、まだお手元に届いていない場合は、お手数ですがご一報ください。新たに入会された方へは今号と一緒に発送いたします。

それから、締切はあるのか？ というお問合せも頂戴しています。締め切りは設けていません。アンケートは回収したものを集計し、資料として活用していくことはもちろんですが、冤罪の実態を国会議員に理解してもらうことも目的の1つです。ですので、期限はあつてないようなもので、アンケートが返ってきたら、その都度集計結果をどんどんブラッシュアップしていきます。気長に構えています。また獄中生活を余儀なくされている方々もいらっしゃいますので、アンケートが返ってくるまで時間がかかるケースも多いのではないかと考えています。

上記のような訳で、期限は無しとご理解いただければ有難いです。宜しくお願い致します。

#### ■冤罪犠牲者の会主催第2回イベントのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大の不安が広がり、6月に予定していた冤罪犠牲者の会主催イベントは開催できませんでした。このイベントでは当会の総会も兼ねて行う予定でした。現在、多くの支援団体が集会や勉強会を見合わせています。コロナ禍の状況を見極めながら、再度9月26日（土）にイベントを開催することになりました。

9月26日（土）第2回冤罪犠牲者の会主催イベント

第1部：冤罪犠牲者の会総会

第2部：イベント「高杉晋吾さんと安田聡さん」（仮タイトル）

会場：NATULUCK茅場町二号館4階大会議室（東京メトロ東西線、日比谷線「茅場町駅」1番出口徒歩3分）

時間：開場開演は14時か14時半を予定

詳細が決まり次第、改めてお知らせいたします。宜しくお願い致します。

## ■冤罪ラジオ番組『塀の中の白い花～ほんとに何もやってません』

日本で唯一の冤罪ラジオ番組『塀の中の白い花～ほんとに何もやってません』はFMたちかわから第1・3・5月曜日23時半に放送中。ただし、この番組は全国放送ではありません。放送エリアは限られています。しかし、ネットがあれば世界のどこでも聴けるサイマル放送で、地球の裏側でも聴けるといふ摩訶不思議な仕組みに支えられています。

過去放送分アーカイブはネットで聴けます。「seesa 塀の中の白い花」で検索してみてください。<http://enzaibusters.seesaa.net/>

## ■冤罪犠牲者の会にお電話をいただく場合のお願い

冤罪犠牲者の会事務局は常駐スタッフがおられません。複数の冤罪関連団体が桜井司法研究所を共有しています。そのような訳でお電話いただいても、応答できるスタッフがおられません。お急ぎの場合、冤罪犠牲者の会に連絡をしたいという場合は下記へお電話ください。

080-5182-3911（冤罪犠牲者事務局長：なつし聡）個人の電話番号ですので「はい。ユメミノ音泉村です」と応答することもあります、ご容赦ください。

＝＝冤罪犠牲者の会は当会の主旨に賛同していただける仲間を集めています！＝＝

「冤罪犠牲者の会」が結成されたのが昨年3月2日。お陰様で少しずつ会員が増え、現在、百名を超えました。冤罪に巻き込まれてしまった方、冤罪犠牲者を支援している方、冤罪撲滅に力を貸して下さる方、などで構成されています。冤罪に関心をお持ちの方がお近くにいらっしゃったら是非、声をかけてあげてください。

年会費：個人会員（正会員）2000円 賛助会員1口1000円

※会費はいつ払えばいいの？ というご質問もいただいています。郵送の方へは払い込み用紙を同封させていただきます。メールで会報をお届けしている方はお手数ですが、下記の口座へお振込みください。今年に入ってからご入会いただき、既にお振込みいただいている会費は新年度分として処理させていただきますので、新たにお振り込み戴く必要はございません。

### 「冤罪犠牲者の会」の口座

◎現金払込・ゆうちょ間送金の場合

記号番号 00150-7-515181

口座名称 冤罪犠牲者の会

◎他行からの送金の場合

金融機関 ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）

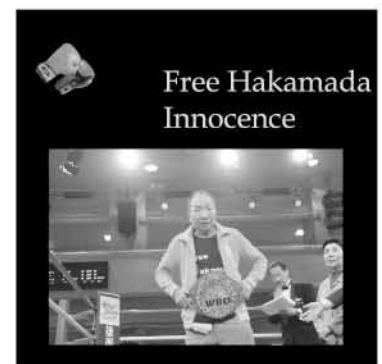
支店 〇一八店（ゼロイチハチ店）店番 018

預金種目 普通 口座番号 9884160

口座名義 エンザイギセイシヤノカイ

◎PayPalでの振り込みは当会ホームページの「当会について」

から「入会のお申込み」ページにある「会費支払方法」をご参照ください。



### ■CD「Free Hakamada」発売中！

Amazonや全国のCDショップでご注文できます。売上は冤罪撲滅を目指す支援団体に寄付します。

発行：冤罪犠牲者の会

〒160-0023東京都新宿区西新宿7-5-13 第3工新ビル201号室（桜井司法研究所内）

<https://enzai.org/> e-mail : [info@enzai.org](mailto:info@enzai.org)

発行責任者 なつし聡